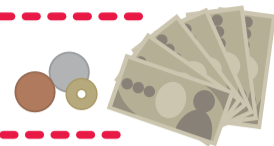




福祉環境委員会(10月18日)



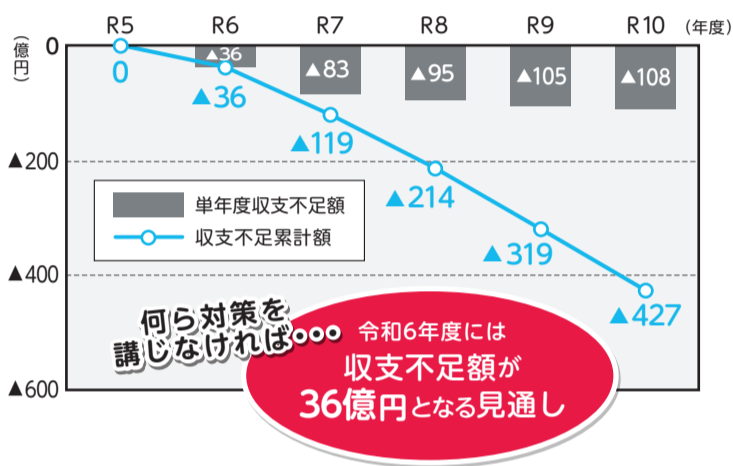
令和4年度 会計決算の概要



令和4年度の一般会計歳入は9,417億円、歳出は9,406億円で約11億円の黒字となりました。神戸市の借金(市債残高)は1兆2,592億円で、三宮再整備事業などの進捗に伴い令和3年度より299億円増加しています。一方で神戸市の貯金(財政調整基金)は156億円で、令和3年度より10億円の増加となりました。今後、**高齢化社会の進展、人口減少、経済規模の縮小により、市税収入の減少が予想**されます。さらには、**原油価格・物価高騰による財政支援を見据えた財源確保が必要**です。政策の見直しをして、**社会保障費等の増加に備え、神戸市の貯金(財政調整基金)を増額**しておくべきであると考えます。

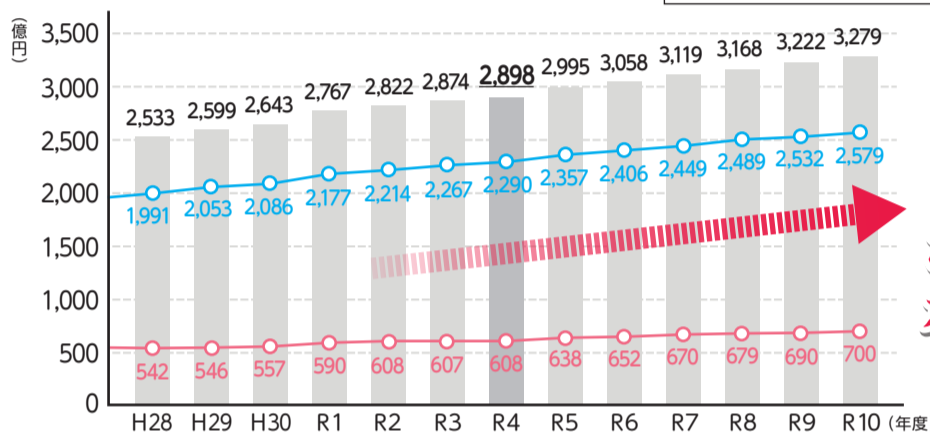
今後の収支不足額の推移について

(令和5年2月公表)



社会保障関係費(扶助費及び保険会計)の推移

※中期財政収支見通し



決算特別委員会

総括質疑



● 不登校特例校について



自宅以外に居場所のない
児童生徒のために!

要望!

神戸市では、不登校児童生徒数が増加していることから令和7年度までに不登校特例校を設置することを決めました。現在、不登校児童は校内フリースクールや教育支援センター(くすのき教室)、民間フリースクールに通われていますが、NPO法人「登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク」が実施したアンケートでは、**不登校児童生徒の9割が主に自宅で過ごしています。不登校特例校では、自宅以外に居場所がない児童生徒の居場所となるようにしていただきたいと要望**しました。児童生徒が自宅で過ごしている理由が、経済的理由であれば経済的支援が必要ですし、生徒と先生という人間関係が苦手という児童生徒もいるでしょう。制服・校則・評価制が苦手という場合には、制度を変えないといけません。**自宅で過ごしている理由をしっかりと研究していただければ、不登校特例校のあるべき姿が見えてくる**と思います。

要望! 見守り介護を含んだ
夜間支援サービスを

● 医療的ケアの必要な子どもの夜間支援について

医療的ケアの必要な15歳未満の子どもに対する神戸市の居宅介護サービス(ホームヘルプ)は、月30時間が標準支給量であり連続3時間の集中的なサービスとなっており、**夜間・深夜における長時間の支援サービスを受けることができません**。神戸市北区にあるNPO法人そらしどが2019年に実施したアンケートでは、医療的ケアの必要な子どもの保護者(特に母親)は、**夜のお世話を代わってもらえる人がおらず、連続3時間ほどしか寝られない、寝ていても呼吸器の音の変化などが常に気になり熟睡できないという声**があがっています。さいたま市では、居宅介護においても見守り介護を含んだ支給決定を行い、夜間支援サービスを可能としています。神戸市においても、**見守り介護を含んだ夜間支援サービスを導入していただきたいと要望**しました。副市長からは、居宅介護の標準支給量は、上限を定めたもの

ではありませんので、本人の障害の状態や年齢、家庭の状況などを丁寧にお聞き取りさせていただいて、**必要に応じて標準支給量を超える支給決定をこれまでも行ってきました**。令和5年3月末現在においては、162人中45人の障害児につきましては、標準支給量を超える支給決定も行っています。また居宅介護のうち身体介護につきましては、個々の利用者に応じて必要なサービスを勘案した結果、3時間を超えた決定になった事例もあります。医療的ケア児をはじめとする重度障害をお持ちの児童を養育される保護者の方の状況につきましては、私も承知しているところでございます。今後とも国の動向を注視しつつ、居宅介護を含む障害福祉サービスや訪問看護などの医療サービス等、市の社会福祉資源全体の中で**医療的ケア児とその御家族に対し必要な支援を行ってまいりたいと考えておりますとの答弁**でした。

決算特別委員会 局別審査

こども家庭局

「こべっこ発達専門チーム」
詳しい内容はこちら! →



神戸市では発達のフォローが必要な子どもの相談が多くなっていることから、医師、保健師、心理士、福祉職の専門職で構成する「こべっこ発達専門チーム」を発足させ、西区、垂水区を中心に、2次健診や家族相談を行っています。10月からモデル事業が始まっていますが、**必要な方にしっかりと情報が届くように広報に取り組んでくださいと要望**しました。次に令和4年度から始まったこども・ケアラーに対する訪問支援事業が1年間で5件しか実績がなかった理由を伺いました。神戸市からは、こども・若者ケアラー全体の相談支援窓口では、令和3年から令和5年8月までに350件の相談がありました。訪問支援事業の利用が適当と考えられる場合は利用を勧めています。ケアラー自身がケアラーであると自覚していないこと、他人が家に入ることに否定的な保護者がいることなどから、サービスに至るまでに丁寧に時間をかけて制度の説明をしていますとの回答でした。個々の状況に対応することが重要と考えておりますので、**引き続きケアラー世帯の負担軽減に取り組んでくださいと要望**しました。

文化スポーツ局

目標人数を設定し
職員や関係者で
集客意識の共有を!



令和4年度の決算では1年間で小磯記念美術館が7,000万円の赤字、神戸ゆかりの美術館は8,000万円の赤字です。文化芸術は、生活に潤いや彩りを与えるものとして、赤字でも仕方ないと思うのか、黒字までは行かなくても収支均衡を目指していくのか、文化スポーツ局の方針を質問しました。局長からは、小磯・ゆかり美術館の予算と決算の乖離が大きいのが課題となっています。管理費はやむを得ないとしても、特別展は入場料で賄いたいという思いですとの回答でした。過去の特別展の状況から計算すると、来館者を1.7倍の3万4,000人までに上げないと収支均衡になりません。私からは、**目標人数を設定し職員や関係者で集客意識を共有していただくように要望**しました。また、絵画教室や個展の開催、子ども向けイベントの開催により美術館を使用してもらう機会を増やすことで美術館への来館のハードルを下げていただくように要望しました。

※怒りの※ 反対討論!



10月23日に自民党、公明党、神戸みらいの3会派から「地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書提出」の議案が提出されました。本議案は、地方議会において会社員が立候補しやすいよう、また議員転身後の老後の生活の心配がないよう、地方議員が厚生年金に加入できるように法整備を求める内容です。以下に**本会議での反対討論を掲載**します。

YouTube

中継動画をご覧ください!

「確かに、国民年金だけでは老後の生活を安心して送ることができません。そうであるならば、その制度を見直すことが我々政治家の本来の仕事であり責任ではありませんか。我々だけ、その心配な制度から抜け出す行為は、沈没しそうな船から船長が我先に逃げ出す行為と等しく、残された方からは『恥を知れ!恥を』という声があがってもおかしくありません。皆さん、少ない国民年金しかなく生活に困窮している方が、安心して暮らせる国民年金制度に改善するように意見書を提出しませんか。心配な状況におかれている市民の方に安心していただいて、その後に我々政治家も安心な制度に移行しましょう。以上で、私の反対討論を終わらせていただきます。」

お知らせ

介護を受けたり寝たきりになったりせずに日常生活を送れる期間を示す「健康寿命」で、男女ともにトップクラスの長野県・山梨県の背景に「高齢者の就業率」が関連していると注目されています。これまでに健康寿命を延ばす要因とされてきた「適度な運動」では、ウォーキングよりもテニスやバドミントン、サッカーなどの球技が健康寿命を延ばす効果があると報告されています。*神戸市では、**中学校の体育館の夜間開放**や**シニア向けの就職説明会**を実施していますので、ご活用ください。

*2018年「Mayo Clinic Proceedings」誌に掲載された論文

ICTを活用した 中学校体育館の夜間開放

体力・運動能力向上、市民の健康増進、開かれた親しみやすい学校づくりのために、学校施設を「活動の場」として開放します。インターネットで簡単に施設予約ができます。

●予約システム
RemotelOCK
■予約成立⇒鍵のワンタイムパスコードを発行
■利用日当日 鍵のパスコードを入力し体育館へ入館
■オンラインで申込
使用団体
まなかざりサポート

健康寿命を延ばしましょう!

詳しい内容は ↓こちら!

申込方法

「シニア地域別就職面接会」の開催

市内シニア世代の就業率向上と市内企業の人材確保をはかるため、生涯現役をめざす方々とシニア世代の採用に積極的な企業のための就職面接会を開催します。併せて、ハローワーク、シルバー人材センターの相談コーナーも設置します。

日時 2023年 12月12日(火) 13時~16時
会場 西神プレンティホール 西区梶台5-2-3 プレんティー番館4階
●参加対象者: 概ね60歳以上の方 ●参加企業: 10社程度
●予約開始日: 2023年11月8日(水) 9時~
申込方法 ハローワーク西神へ 電話または直接窓口へ
TEL.078-991-1100 詳しい内容はこちら! →